

Sustainable Report No.119

生まれ変わる コーヒー粉

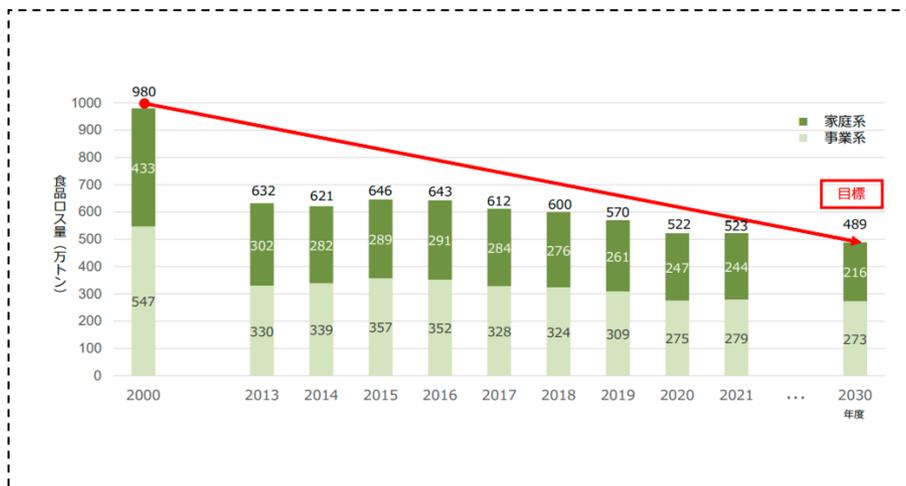


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

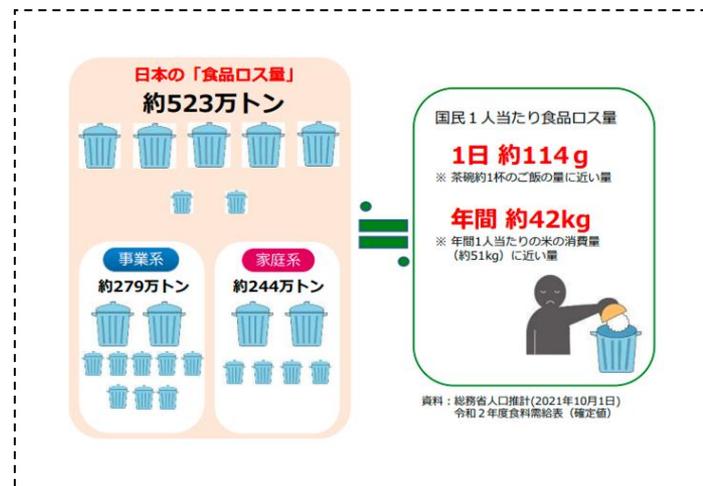
- 2021年度に**日本で523万トンの食品ロスが廃棄**され、このうち食品の製造過程における廃棄物など食品関連事業者から発生した量は279万トンと半数以上を占めた。
- 飲食店等にとっては、**分別に手間がかかることがリサイクルの実施が難しい原因**と考えられる。
- 食品ロスが焼却されて温室効果ガスの一種である**CO2が排出されることで地球温暖化の一因**となる。最終処分場の寿命も迫り、2022年度末の時点で残り23.4年と言われている。

■ 食品ロス量の推移と削減目標



出典：消費者庁

■ 日本の食品ロスの状況（2021年度）



出典：農林水産省／総務省

▶ NEXT : コーヒー粉を再生した国産クラフトジンを販売

■ 実行者／解決方法／残る課題

- エシカル・スピリッツ株式会社は、**廃棄素材を使用して再生型蒸留所を運営する蒸留ベンチャー**。日本航空株式会社と株式会社JALUXとともに、2023年11月に新たな商品開発・販売を行った。
- JAL国内線の羽田空港ラウンジで**コーヒーを抽出した後に残るコーヒー粉を再生してクラフトジン『Re FLY』を開発**。ベースにも酒粕を蒸留した「粕取り焼酎」を使用し、従来よりCO2eを28%削減。
- 取り組みを拡大に向けて、特定の場所だけではなく他にコーヒー粉を廃棄する飲食店や店舗からコーヒー粉を集めるための**回収や分別の仕組み作りがハードルになる**のではないかと。

■ クラフトジン「Re FLY」



- 品目：スピリッツ（ジン）
- アルコール分：47%

出典：全てエシカル・スピリッツ株式会社

■ 提供場所



- 羽田空港国際線「JALファーストクラスラウンジ」内の「JAL's SALON」
- 羽田=ニューヨーク線 国際線JALビジネスクラス（画像左）
- エシカル・スピリッツが運営する「東京リバーサイド蒸留所」（画像右） 等



▶NEXT：回収の仕組みを作ってリサイクル量の増加へ

■ 弊害の原因／理想／企業施策

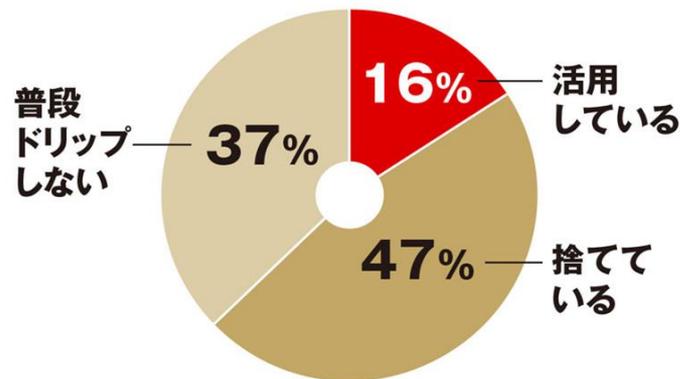
- 提供量が少ない店舗だと廃棄するコーヒー粉の量も少ないため、**リサイクルによる対価よりも回収にかかる費用が上回ってしまう**ことが懸念される。
- 飲食店や販売店などの**提供量に関わらずコーヒー粉のリサイクルが浸透**していくことが理想である。
- コーヒー豆など原料の販売企業がハブとなり、コーヒー粉を貯められる容器を配布し、**溜まったら原料納品時の帰り便や販売店への直接持ち込みにより回収**することで、リサイクルの促進が期待される。

■ 1店舗から出る1週間分のコーヒーかす



出典：ハーチ株式会社

■ コーヒーの抽出かす、どうしている？



2022年11月10～11日、回答：12,637人

ウェザーニューズ

出典：ウェザーニューズ

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- 消費者庁, 「食品ロス量の推移と削減目標」, 2023年12月13日参照
(https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/education/assets/Foodloss_Situation.pdf)
- 農林水産省, 「日本の食品ロスの状況（令和3年度）」, 2023年12月13日参照 (<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/attach/pdf/230609-2.pdf>)
- 環境省, 「一般廃棄物の排出及び処理状況等（令和4年度）について」, 2024年03月28日 (https://www.env.go.jp/press/press_02960.html)
- エシカル・スピリッツ株式会社, 「JALのラウンジの“コーヒー粉を再生”した国産クラフトジン『Re FLY』11月1日より発売」, 2023年11月1日
(<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000070.000054781.html>)
- ウェザーニュース, 「捨てたらもったいない！脱臭効果が炭の5倍にもなる、コーヒーかすの再利用法」, 2022年11月24日
(<https://weathernews.jp/s/topics/202211/170245/>)
- Life Hugger, 「コーヒーかすを再利用して堆肥や肥料の材料に循環！mame-ecoの活動に密着」, 2022年11月10日 (https://lifelugger.jp/column/mame-eco_kyoto2022/)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。